日 絹 月 報

平成 23 年 6 月号 第 411 号

発行：社団法人日本絹人織織物工業会

日本絹人織織物工業組合連合会

Tel 03-3262-4101

URL <http://www.kinujinsen.com>

日絹月報はホームページでも閲覧できます。

本号の主なニュース

1. 工業会正副会長・連合会正副理事長を選任
2. 第 50 回繊維通商問題研究会の開催について
3. 原子力発電所事故に伴う風評被害の防止等について

◇ 工業会正副会長・連合会正副理事長を選任 ◇

5月24日に開催された工業会第148回（定時）総会及び連合会第55回（通常）総会において、平成22年度収支決算等が審議され、原案どおり承認された。

また、同総会において工業会・連合会それぞれの理事及び監事等全員の任期満了に伴う改選により、後任理事及び監事等が選任され、続いて開催された工業会第210回理事会及び連合会第266回理事会において、工業会正副会長及び連合会正副理事長に次の各氏がそれぞれ選任された。（任期は2年間）

社団法人日本絹人織織物工業会

会 長	渡 邊 正 義 (丹 後)
副会長	西 紀 幸 (小 松)
同	渡 邊 隆 夫 (西 陣)
同	増 永 矩 明 (福 井)
同	田 村 直 之 (伊 勢 崎)
専務理事	小 島 伸 一 (員 外)
常務理事	芝 村 修 (同)

日本絹人織織物工業組合連合会

理 事 長	西 紀 幸 (石 川)
副理事長	渡 邊 正 義 (丹 後)
同	増 永 矩 明 (福 井)
同	渡 邊 隆 夫 (西 陣)
同	田 村 直 之 (伊 勢 崎)
専務理事	小 島 伸 一 (員 外)
常務理事	芝 村 修 (同)

◇第 50 回繊維通商問題研究会の開催について◇

平成 23 年 5 月 23 日（月）繊維会館において、第 50 回繊維通商問題研究会が開催された。主要議題は次の通り。

1. 日本の繊維貿易の現状
2. インドネシアの綿織物のセーフガードに関して
3. EPA 交渉の状況
4. EPA 産業協力の状況
5. 震災の影響に関連した貿易・通商上の問題について
6. 日中韓 FTA WG につて
7. その他（繊維産連から商工会議所 EPA セミナーの報告）

◇ 原子力発電所事故に伴う風評被害の防止等について ◇

平成 23 年 6 月 1 日付けで経済産業省から福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害の防止及び福島県の工業製品等の放射線測定結果について関係団体宛てに下記とおり周知依頼があった。

記

東日本大震災による、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故は、事態の收拾に向けて一定の前進が見られるものの、依然として予断を許さない状況が続いており、現在、これ以上の放射性物質の拡散防止のため、政府一丸となって力を尽くしております。

今回の事故を受けて、福島第一原子力発電所周辺地域では、原子力事故に起因した取引のトラブルが発生しているとの声が寄せられているところ、4 月 28 日には、貴会傘下の会員各社に対しまして、原子力発電所周辺地域の事業者が事業活動を維持し、又は今後再開させる場合に、できる限り従来の取引関係を継続し、あるいは優先的に発注を行っていただくなど、特段の御配慮をお願いしたところです。

公正取引委員会においても、震災の被害を受けた原子力発電所と同一県内に下請事業者が所在することを専らの理由として、発注した商品の受領を拒むことやいったん受領した商品を返品することは、下請法違反となるおそれがあると注意喚起しております。

また、原子力事故の風評被害の影響による、取引停止、発注の大幅な減少や不当な取引条件を課すこと等のトラブルに対しても、上記の配慮に加え、各機関から提供される情報等を十分理解の上、科学的・客観的根拠に基づいて適切に対処していただくよう、

お願いしたところでは。

今回の事故を踏まえ、福島県が福島県ハイテクプラザ（郡山市、いわき市）において福島県内企業等からの依頼を受けて行った、警戒区域内を除く地域の工業製品等の放射線量測定結果（5月25日現在1650件）について提供を受けたところ、屋外に置いてあった2件を除き※欧州委員会エネルギー総局が加盟国に対し共通閾値（汚染を測定した際に、問題の有無を判断する上での基準となるしきい値）として利用することを推奨した値（ $0.2\mu\text{Sv/h}$ ：バックグラウンドを除く。）と比較しても十分に低い水準となっております。

※ 屋外に置いてあった2検体が当該値を若干超えたが、水で洗う等の処理を行った結果、これを十分に下回る水準になったとの報告があった。

経済産業省及び福島県としては、今後とも状況を注視しつつ、必要な体制の整備や情報提供等に取り組んでまいります。貴会傘下の会員各社におかれましては、科学的・客観的根拠に基づいて適切に対処されることを、改めてお願い申し上げます。

◇繊維製品に関する放射線量のサンプリング調査結果について◇

（平成23年6月6日プレス発表）

経済産業省は、福島第一原子力発電所の事故を受け、我が国繊維製品における放射能の影響を把握するため、国内及び国外の各地域で生産された繊維製品の放射線量についてサンプリング調査結果を発表した。

調査の結果によると、いずれの地域のサンプルからもバックグラウンド値を大きく超える放射線量は検出されず、また、生産地間（国内の地域間及び国内と国外間）において放射線量の有意な差は認められなかった。

1. 調査目的

福島第一原子力発電所の事故を受け、我が国繊維製品における放射能の影響を把握するため、国内外で生産された繊維製品の放射線量についてサンプリング調査を行い、繊維産業界及び消費者へ正確な情報を提供すること。

2. 調査方法

（1）測定方法

調査対象地域で生産された繊維製品について、端窓型GMサーベイメータを用いて放射線量を測定し、放射能面密度（ Bq/cm^2 ）（単位面積当たりの放射能）を求めました。

（2）測定器

GMサーベイメータ TGS-146（アロカ社製）

3. 調査実施期間

平成23年4月～5月

4. 調査対象物

繊維製品（ニット製品、布帛製縫製製品、絹織物及び同製品）

5. 調査対象物の生産地域（下図参照）

計画的避難区域、緊急時避難準備区域、福島県内（警戒区域、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域を除く。）、東京都、西日本（大阪府、京都府）、国外（アジア、欧州）の6地域。

6. 調査実施場所

一般財団法人カケンテストセンター（埼玉県川口市）

7. 調査結果

5. で示した生産地域毎に調査対象である繊維製品をサンプリングし、放射線量の測定を行いました。いずれの地域のサンプルからもバックグラウンド値（6. 調査実施場所での環境放射線量）を大きく超える放射線量は検出されませんでした。

また、繊維製品の生産地の違いによる放射線量の有意な差も認められませんでした。

調査対象物毎の結果は以下のとおりです。なお、以下の放射能面密度の数値は、測定値からバックグラウンド値を差し引いたものです。

（1）ニット製品（化学繊維）

放射能面密度の測定値（平均値）は、最小0.01 Bq/cm²～最大0.02 Bq/cm²であり、バックグラウンド値を超えて放射線量が検出されるサンプルはありませんでした。

（2）ニット製品（天然繊維）

放射能面密度の測定値（平均値）は、最小0.00 Bq/cm²～最大0.14 Bq/cm²であり、バックグラウンド値を超えて放射線量が検出されるサンプルはありませんでした。

（3）布帛製縫製製品（化学繊維）

放射能面密度の測定値（平均値）は、最小-0.02 Bq/cm²～最大0.02 Bq/cm²であり、バックグラウンド値を超えて放射線量が検出されるサンプルはありませんでした。

（4）布帛製縫製製品（天然繊維）

放射能面密度の測定値（平均値）は、最小0.01 Bq/cm²～最大0.03 Bq/cm²であり、バックグラウンド値を超えて放射線量が検出されるサンプルはありませんでした。

（5）絹織物及び同製品

放射能面密度の測定値（平均値）は、最小-0.01 Bq/cm²～最大0.02 Bq/cm²であり、バックグラウンド値を超えて放射線量が検出されるサンプルはありませんでした。

注:バックグラウンド値とは放射線を測定するときの前提となる値で、その場所に自然にある放射線量。今回は専門家の意見によりバックグラウンド値の2倍を超えていれば汚染されていないと判断した。

◇ 今月の「資金調達ナビ」最新の支援情報(全国版) ◇

中小機構では、J-Net21スタッフが全国の省庁や都道府県庁、支援センターなどの公的機関のサイトに発表されているWEB情報を収集し、リンク情報として紹介しています。資金制度、募集中の資金情報を資金調達の目的、方法、都道府県別に検索できますので実施されている事業にあわせて情報を入手することができます。

中小機構ホームページ<http://j-net21.smrj.go.jp/raise/index.html>
(日絹ホームページからもリンクしていますので御利用下さい)
(全国版)

平成23年度「クール・ジャパン戦略推進事業(海外展開支援プロジェクト)」に係る委託先の公募について(経済産業省)

クール・ジャパンを担う中小企業、職人、クリエイター、海外の販路開拓を担う内外の企業、メディア等が、チーム(コンソーシアム)を組み、プロジェクトを統括しながら海外市場を開拓する事業を支援します。説明会を6月21日、経済産業省本館にて開催します。募集期間：2011/6/16～2011/7/6

クール・ジャパン、海外展開支援プロジェクト公募(経済産業省)

クール・ジャパンを担う中小企業の海外展開を後押しするプロジェクト提案を公募します。ファッション、コンテンツ、食、地域産品等の分野で、ターゲット国を決め「業種を越えたチームづくり→市場調査→市場開拓→成果の検証→実際の事業展開」という民間の一貫した取組が対象です。説明会を6月21日、経済産業省本館にて開催します。募集期間：2011/6/16～2011/7/6

原子力災害に伴う「特定地域中小企業特別資金」の開始について(中小企業庁)

福島県と経済産業省は、中小企業基盤整備機構の高度化融資スキームを活用し、原子力発電所事故の被災区域から移転を余儀なくされる中小企業等が、福島県内の移転先において事業を継続・再開、雇用を維持するために必要な資金の融資申請を、6月1日より受付開始します。募集期間：2011/6/1～2012/3/31

中小・小規模企業向け「東日本大震災復興特別貸付」の創設(日本政策金融公庫)

東日本大震災の発生を受けて創設された貸付制度であり、既存の複数の融資制度を一本化し、融資限度額や金利引き下げ措置等を大幅に拡充したものです。とりわけ、直接・間接的

に被害を受けた方に対しては、「別枠」を用意しています。更に、風評被害等による影響から資金繰りが著しく悪化している方も貸付対象としています。募集期間：2011/5/23 ～

中小企業緊急雇用安定助成金 (厚生労働省(ハローワーク))

景気の変動、産業構造の変化その他の経済上の理由により、事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が、その雇用する労働者を一時的に休業、教育訓練又は出向をさせた場合に、休業、教育訓練または出向に係る手当若しくは賃金等の一部を助成します。

募集期間：平成20年12月から当面の間

経営環境変化資金(セーフティネット貸付) (日本政策金融公庫 国民生活事業)

社会的、経済的環境の変化などにより、一時的に業況の悪化を来している中小企業者に対し、経営基盤の強化を図るための資金を融資します。融資額は4,800万円以内です。

募集期間：～2012/3/31

金融環境変化資金(セーフティネット貸付) (日本政策金融公庫 国民生活事業)

金融機関との取引状況の変化により、一時的に資金繰りに影響を受けている中小企業者に対し、経営の安定を図るための資金を融資します。融資額は別枠4,000万円以内です。

募集期間：～2012/3/31

取引企業倒産対応資金(セーフティネット貸付) (日本政策金融公庫 国民生活事業)

取引企業などの倒産により経営に困難を来している中小企業者に対し、企業の運営上一時的に必要な資金を融資します。融資額は別枠3,000万円以内です。

募集期間：～2012/3/31

動 向

- 5月23日 第50回繊維通商問題研究会
- 23日 当会 正副会長・正副理事長会議
- 23日 当会 顧問との懇談会
- 24日 当会 工業会・連合会定時総会
- 24日 繊維会館定時総会
- 24日 日本繊維倶楽部定時総会

- 24日 今後の繊維・ファッション産業のあり方に関する研究会
- 25日 東京織商懇親会
- 27日 繊維貿易会館理事会
- 30日 シルクセンター国際貿易観光会館理事会
- 30日 繊維評価技術協議会理事会
- 30日 全日本きもの振興会総会
- 31日 全国中小企業共済財団第149回評議員会
- 6月 3日 平成23年度第2回蚕糸褒賞等選考委員会
- 6日 日本絹業協会運営協議会
- 6日 日本ファッションウィーク推進機構定時総会
- 7日 中金会通常総会
- 8日 繊維産業流通構造改革推進協議会通常総会
- 9日 関東織物産地連絡協議会6月例会
- 9日 アパレル産業協会通常総会
- 13日 全日本帯地連盟小委員会
- 13日 日本生糸問屋協会生糸需給価格打合せ会議
- 15日 全国中央会理事会・総会
- 16日 大日本蚕糸会評議員会
- 16日 中央職業能力開発協会理事会・総会
- 17日 日本絹業協会理事会・総会

会議予定

- ☆ 経済産業省繊維課担当官 産地視察
6月20日(月) 14時 於 丹後産地(21日西陣産地)
- ☆ 中央蚕糸協会通常総会
6月20日(月) 11時 於 蚕糸会館
- ☆ 商工中金定時株主総会
6月22日(水) 10時 於 東商ホール
- ☆ SCM平成23年度第1回取引改革委員会
6月22日(水) 14時 於 T F Tビル
- ☆ 日本絹業協会 生糸電子検査方法に関する説明会
6月22日(水) 14時 於 蚕糸会館
- ☆ 公益法人制度改革セミナー
6月28日(火) 13時 於 野村証券新宿野村ビル
- ☆ UIゼンセン同盟「繊維産業シンポジウムIN FUKUI」
6月29日(水) 13時 於 福井県国際交流会館

- ☆ 日本絹業協会純国産絹マーク審査委員会
6月30日(木) 14時 於 蚕糸会館
- ☆ 当会 資産運用検討委員会
7月4日(月) 12時 於 日絹会館
- ☆ 日本繊維倶楽部 繊維午餐会
7月4日(月) 12時 於 KKRホテル東京
- ☆ 第51回繊維通商問題研究会
7月5日(火) 14時 於 繊維会館
- ☆ 日本関税協会事業報告会
7月20日(水) 15時50分 於 グランドプリンス高輪
- ☆ 全国中央会 下請ガイドライン説明会
7月22日(金) 14時 於 全中全味ビル
- ☆ 織産連常任委員会
7月26日(火) 14時 於 東海大学校友会館

イベント

- ☆ 「こだわりの布8社展」2012展示商談会
6月29日(水)～7月1日(金) 10時～19時
会場：南青山291 (初日13時より・最終日17時まで)
- ☆ 十日町染織創作展(東京)
7月11日(月)～12日(火) 10時～18時(12日は9時～17時)
会場：サンライズビル3・4階
- ☆ 十日町染織創作展(京都)
7月25日(月)～27日(水) 9時～18時
会場：京都産業会館3階 (初日15時30分より・最終日15時まで)